

遠藤 康 (Ko ENDO)

学位： Ph. D. (Sanskrit)

略歴：

駒澤大学人文科学研究科修士課程修了

プネー大学（インド）大学院

サンスクリット語プラークリット語専攻 M. Phil. 課程修了

プネー大学（インド）大学院

サンスクリット語プラークリット語専攻博士課程修了

専門分野： インド哲学史

研究課題：

ヨーガ派の思想史文献史研究

ナート派を中心とする中世ヨーガ思想研究

【論文】

- ・「転変説と時間論に関する『ヨーガ・バーシュヤ』の『俱舍論』依拠」（『愛知文教大学論叢』第17巻、2014. 11）
- ・『『ゴラクシャシャタカ（Gorakṣaśataka）』におけるヨーガ支 dhāraṇā」（『東海仏教』第58輯、東海印度学仏教学会、2013. 3）
- ・「ゴラクシャシャタカ（Gorakṣ aś ataka）」（小本）におけるヨーガ支 pratyāhāra の意義（『愛知文教大学比較文化研究』10、2010. 11）
- ・「ヨーガ派における慈・悲・喜・捨の修習と四無量」（『慈悲』日本仏教学会編、平楽路書店、2010. 9、下記の採録）

【その他】

- ・東海印度学仏教学会理事・幹事
- ・公益財団法人中村元東方研究所東方学院中部校講師（「サンスクリット語初級」担当）
- ・「古典ヨーガとハタ・ヨーガ」日本南アジア学会設立30周年記念連続シンポジウム仙台大会“南アジアにおける表象と身体”における発表（東北大学川内キャンパス 2018. 5）
- ・高大連携出張授業「インド英語を聞いてみよう」（愛知県立瀬戸北総合高等学校 2016. 7）
- ・高大連携事業出張授業 「身近にある古代インドーみんな知ってるインドの昔話ー」（高松学園伊那西高等学校 2015. 1）
- ・高大連携事業出張授業 「英語音読トレーニング法」（愛知県立一宮商業高等学校 2014. 7）

【研究テーマ】

インドの伝統的な宗教実践である瞑想やヨーガについて、その思想や文献の歴史を、ヨーガ派と呼ばれるグループと他の思想宗教グループとの関係を中心として研究してきました。最近では中世に誕生して現在まで存続している修行者集団ナート派に興味を持ち、彼らが伝えた文献の研究も進めています。